

## **「振り返り」と「気づき」の場としての LMS -ドイツ語教育の現場から-**

境 一三 (慶應義塾大学)  
第74回CIEC研究会  
2008年3月29日大学生協会館

### **言語「教育」の目的**

- 「教育」の目的: 自律的学習者の養成
- 言語「教育」の目的: 自律的言語学習者の養成

## 自律的言語学習者の条件

- 自らの学習を「振り返る」ことのできる者
- 学習について「気づき」を持つことのできる者
- 他者と協調学習ができる者
- 言語について「気づき」を持つことのできる者

## 「学習」に対する 「振り返り」と「気づき」

- 自らの立ち位置を常に確認する意識
- 学習方略に対する意識
- 学習スキルに対する意識

## 言語に対する「気づき」

- データから規則性を帰納する(発見的学習)
- 規則の適応可能性をデータに即して検証する
- 学習者の協調作業によって「気づき」を増進させる

## 協調学習

- 「知」は他者との相互作用によってもっとも活発に構成される(社会的構成主義)
- 学習そのものについても、また言語についても学習者間のインタラクションにおいて「気づき」や「知の構成」は最大化する

## LMS = 社会的知識構成の場

- インターネットとシームレスに接続されること  
によって authentic な言語データに触れること  
ができる (豊かな学習環境) 機能的学習  
(data-driven learning) が活性化される
- Forum、Chat などによる学習者間 (教員学習  
者間) インタラクションによって協調学習が促  
進される 「気づき」の共有と活性化、「知  
の構成」の活性化

## 例1

- 学生A: 新しい単語がたくさん出てきて大変そう  
です。また男性名詞・中性名詞・女性名詞の区  
別が面倒そうですね。「~zimmerは全て男性名  
詞」みたいに単純化してくれないのかなあ。歴史  
的な経緯で分けられているんでしょうけどつい  
ついそう思いました。
- 教員: いいところに気づきましたね。das  
Wohnzimmer, das Schlafzimmer, das  
Arbeitszimmer, das Kinderzimmer, das  
Badezimmer などから何かが見えてきませ  
んか？

## 例1のプロセス

- 1) 学生Aは、その日に学習したことを「振り返り」、ドイツ語の複合名詞の性には何らかの規則性があるのではないかと「気づいた」。
- 2) それをフォーラムでクラスメイトに公開した（「協調学習」）。
- 3) 教員の反応は、定冠詞を付けて例を示すことで帰納的な「規則の発見」を誘導することであった（das という定冠詞が、これらの複合名詞が中性であることを示している）。
- 4) 以上は次の授業時間に教員が複合名詞の性の決定法を扱うための導入となった。

## 例2

2007年 12月 5日(Wednesday) 01:23 - 学生B の投稿

Liebe Eltern,

viele Grüße aus Wien!

Hier ist sehr schön und wir haben ganz viel gemacht. Zuerst sind wir nach das Zentrum und den Stephansdom gegangen. Danach haben wir eine Stadtrundfahrt gemacht. Gestern Abend haben wir das Schloss Schönbrunn gesehen. Es war sehr nett. Am Samstag haben wir einen Ausflug gemacht und Neusiedler See gesehen. Heute fahren wir weiter nach Salzburg.

Bis Bald!

Viele Grüße

Keio Taro (仮名)

## 例2に対するリプライ

2007年 12月 13日(Thursday) 23:40 - 学生C の投稿

Elternに宛てた手紙なので, 署名がフルネームというのは不自然では?

2007年 12月 15日(Saturday) 20:41 - 学生D の投稿

Neusiedler の前にdenをつけよう。

2007年 12月 16日(Sunday) 02:00 - 学生E の投稿

>Hier ist sehr schön und wir haben ganz viel gemacht.

天候の良し悪しの主語はesなので,

Hier ist es sehr ...にした方がいいのではないのでしょうか?

## 例3 - 1

2007年 12月 9日(Sunday) 22:23 - 学生G の投稿

die Arme かわいそうな人 という表現を学びましたが, 英語でも「the + 形容詞」で, ~ なる人, と同じような表現があり, 類似性に驚きました。こういった文法的な類似性が見つかりると, 英語の知識を生かせるので助かります。

## 例3 - 2

2007年12月16日(Sunday) 20:20 - 学生H の投稿

私のとっている英語の授業は2人組になって毎週ビジネスレターのやりとりをする授業です。ドイツの形式と英語のを比べるとほとんど同じなのですが、die Anredeを「,」で閉じて続きの文として次の段落に進むのは大きな違いだと思いました。 <以下略>

## 例4 - 1

2007年 12月 13日(Thursday) 20:23 - 学生I の投稿

今日「和訳で考えない。」という指示を聞いて、"had better とshouldは和訳ではそれぞれ「～するほうがよい」と「～すべきである」となるのでhad betterの方がやさしい言い方と日本人は勘違いしているが実はhad betterのほうがきつい言い方で、子供に注意するときくらいしかネイティブはめったに使わない。”というような英文を読んですごい衝撃を受けたことを思い出しました... 授業できちんと教えてもらっているのだから、和約をメモるのでなくニュアンスをメモっていきたいです。

## 例4 - 2

2007年12月16日(Sunday) 23:16 - 学生K の投稿

高校で英語を教えてもらっていた先生にも、無理に日本語に直して考えないように言われてました。実際その先生のおかげで、英語を感覚的に身につけれるようになっていました。ドイツ語もそうなるようになりたいです。

## まとめ

### 豊かな学習環境を創出するLMS

- LMSは教室の内と外をつなぎ発見的学習を活性化する。
- LMSは「振り返り」と「気づき」の実践の場となる。
- LMSは協調作業によって「知の構成」を活性化する。